

ホープ Hope



～子どもも大人も元気な学校～

令和6年6月3日(月)発行 第4号

運動会のご参観やご協力に対して心よりお礼申し上げます。多くの保護者や地域の皆様に見守られ、子どもたちは精一杯競技に取り組みました。満足感や達成感を味わった子も多かったようです。約1か月間、教職員は一丸となって指導や支援を行ってきましたが、子どもたちの輝く姿が随所に見られたことが大きな喜びでした。



子どもと保護者の安心を満足へ、
満足を信頼へとつなげる指導

まつやま小 Now(ナウ)

Q.応援団長はどうやって決まったの？

A.立候補です。子どもたちの中には下学年のときから応援団に入りたいと憧れをもっている子たちもいます。赤白青緑、4名の団長の行動力と責任感に感心しました。



Q.開会式のファンファーレを吹いたのは？

A.音楽専科の松岡秀樹教諭です。「本番に備えて、毎日体育館で練習しました。」ということで、子どもたちもびっくりしていました。オープニングが大変盛り上がりました。

Q.係ごとに子どもたちが活躍していたのは？

A.全部で8つ(出発・招集誘導・決勝審判・記録・準備・救護・放送・応援)の係を5・6年生で分担しています。それぞれに担当職員が付き、指導します。ある程度の仕事内容は教えますが、当日はできるだけ「自分の頭で考える」ことを大切に、係活動には主体性を育てる目的もあります。異学年・学級、教職員とのよき交流の場になっています。家庭

での姿とは違い、積極的に行動するお子さんの姿に感心されたのではないのでしょうか。

Q.配慮が必要な子どもたちへの対応は？

A.学年ごとの指導に加えて、一人ひとりの成長に目を向け、学校と保護者で相談しながら当日の参加の仕方を考えました。参加種目や走る距離などで異なる場面がありましたが、それぞれの子どもたちがもてる力を発揮し、満足できるよう配慮して実施しました。

Q.会場設営などPTAへの要請については？

A.来賓受付や退場門付近の誘導に加えて、今年度は朝のテント準備にもご協力いただきました。大村市でつむじ風にテントが飛ばされた事案がありましたので、土嚢に加えて杭も打つことにしました。お父さん方を中心にてきぱきと作業が進み、教職員は余裕をもって係の準備や児童の対応を行うことができました。片づけも多くの保護者が手伝ってくださり、12時頃にはほぼ完了。保護者と学校で作りに上げた運動会となりました。

まつやま小 地域の応援団

地域の活動をお伝えするコーナー

◎真津山地区婦人会



5月28日に婦人会の総会に参加しました。朗らかでやさしくて、地域に住む素敵な先輩方の会でした。婦人会の活動目標の中に、「青少年の健全育成や子育て支援、防犯・交通安全対策」という項目があり、真津山小の子どもたちも大変お世話になっています。行事や会議への参加、登下校の見守り、プールEM活性液投入(このおかげでプール清掃が随分楽になりました)、通学合宿の際の食事提供など年間を通じて活動されています。今年度も3年生を対象にして「郷土料理教室」を開催し、おいしいぬっぺ汁をいただく予定にしています。



【発行者：校長 田中 美和子】